

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

| NO | 事業名 | 事業概要 | 事業始期 | 事業終期 | 総事業費(円) | うち交付金(円) | 事業実績 | 効果 | 担当課 |
|----|--------------------------------|--|---------|----------|---------------|---------------|--|---|-------|
| 1 | 羽曳野市民応援給付金事業 | <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により、市民生活に及ぼす影響の長期化が懸念される中、市民の経済的負担を軽減するため、市民1人あたり1万円を支給。</p> <p>【対象】 基準日(令和2年4月27日)時点で住民基本台帳に記録されている方(外国人含む)</p> | R2.6.8 | R2.10.30 | 1,113,392,311 | 1,113,392,311 | 【給付実績】110,474人 | 多くの市民が新型コロナウイルスの拡大等により経済的な打撃を受ける中、特別定額給付金に上乗せする形での現金給付を行うことにより、市民の経済的負担を軽減することができた。 | 政策推進課 |
| 2 | 市民生活及び地域消費活性化の促進 ～羽曳野応援商品券～ | <p>市民の消費を喚起し、新型コロナウイルス感染症の拡大で影響を受けた市内経済の活性化を図るため、1世帯あたり5,000円分の市内登録店舗で使用可能な商品券を配布。</p> <p>【対象】 市内全世帯(令和2年4月27日現在で住民基本台帳に記載されている世帯)</p> | R2.5.31 | R3.1.8 | 289,340,863 | 289,340,863 | <p>【商品券換金実績】 242,661,500円</p> <p>【利用可能加盟店舗数】 443店舗</p> | 市内店舗での消費を喚起することで、コロナ禍において停滞する地域経済の活性化に寄与。 | 産業振興課 |
| 3 | GIGAスクール構想整備事業 | <p>新型コロナウイルス感染症の影響による学校の臨時休業等、緊急時においても、ICTの活用により全ての子供たちの学びを保障できる環境を早急に実現することを目的に、市立小・中学校の児童・生徒1人1台のパソコン端末を整備。(市単独で整備が必要となっていた端末機分)</p> | R2.9.29 | R3.3.31 | 153,185,737 | 123,405,826 | <p>【端末数】2,807台</p> <p>【支援学校数】20校</p> | 出席停止状況にある児童生徒に対して「授業ライブ配信」を行うことができ、登校再開後の円滑な学習参加が可能となった。 | 教育総務課 |